

平成 23 年 3 月 17 日

理事長 各位

全国ビジネスサポート協同組合連合会
会長 中山 正吉

外国人技能実習生と東北関東大震災の対応について

東北関東大震災で被災された皆さま方に心からのお見舞いを申し上げます。
外国人技能実習生の件でご連絡申し上げます。

遠く母国を離れ来日された技能実習生の皆様にとっては、このたびの大震災と毎日の報道で、より不安が大きいものと思われます。また母国のご家族、送出国政府、送出国機関の方々も、大丈夫だろうか、無事だろうかと心配されていることと思います。受入機関としては、このような緊急時に対し、現状の把握と対策の実情を関係先に、随時報告することで、少しでも不安の解消に努める必要があります。

既に組合様ごとに対応されているとお聞きしていますが、念のためご留意いただきたいことを記しますので、ご参考下さい。

1. 技能実習生は、被害を受けていないか、無事であるかの確認。
問題があった場合の対策をどのように講じているか。
2. 受入企業は、被害を受けていないか、操業ができていないかの確認。
問題があった場合の対策をどのように講じているか。
3. 技能実習生の食事や日常生活は、これまで通りにできているか、問題は生じていないかの確認。
問題があった場合の対策をどのように講じているか。
4. 技能実習生への母国語を話せる出身国スタッフ及び送出国機関日本駐在員の協力を得て、心のケアを含めてフォローができていないか。
(母国語で話し合えることで、より不安が解消できるようです。)
5. 上記 1. 2. 3. の実態把握ができ次第、関係先に報告を入れる。
 - ・ JITCO
 - ・ 入管
 - ・ 都道府県中小企業団体中央会
 - ・ 関係国大使館・領事館 (近隣または、お付き合いのある)(送出国政府は、自国民の安否を気遣い大事にします。事例ですが：先のリビア問題で、ベトナム政府は、飛行機と船をチャーターし、大臣が現地に出向き自国民を全員帰国させたことを見届けてから帰国しているほどです。戦争・内乱状態とは異なりますが、福島原発事故については世界的に注目・心配されています。)

なお、日本に 10 年以上暮らす中国人に対しても、母国の家族や友人から「危険な日本をすぐ離れ帰国せよ」との連絡が次から次と入ってくるとの情報が寄せられています。技能実習生は、より不安に陥りやすく場合によってはパニック状態になることも考えられますので、普段に増した対応が求められます。

※各項目について連合会にも報告をお願いいたします。取り纏めて関係省庁、JITCO、関係国大使館に報告致します。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

以上